

講義科目名称：社会力育成ゼミ1

授業コード：

授業科目の区分等：基礎教育科目 演習

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	1	必修
担当教員			
森川 幸紀雄			
G (現代ビジネス学科)	L (基礎科目)	SM (演習)	102 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	ゼミナール形式の授業により、日本語の運用能力をさらに身に付けること、主に職業生活や社会生活で必要となる基本的な能力を身に付けることを目的とします。特に企業活動に関する事柄、時事的課題等をテーマに取り上げ、その調査や口頭発表の実践により「発信力」「表現力」「ディスカッション力」を身に付けます。また、基礎教養知識の向上を図るとともに、コースの特長でもある専門領域の内容の活用、的確な意見の延べ方、論理的思考、客観的思考などについても学習し、社会人基礎力の土台を築くことを目指します。		
授業計画	第1回	後期オリエンテーション (前期・夏休みの振り返り、後期授業の進め方) レポートの書き方、模擬ブライダル 予習(時間)：前期に履修し修得した科目のチェック (30) 復習(時間)：前期・夏休みの振り返り、後期授業の進め方について復習する。(30)	
	第2回	オーラルスピーチ・プレゼンテーション ホテル・ブライダル業界研究(模擬ブライダル予定) 予習(時間)：自分の関連あるものをわかりやすく紹介できるようにする。(30) 復習(時間)：作成した紹介スピーチを時間や構成を意識して練習する。(30)	
	第3回	オーラルスピーチ・プレゼンテーション ホテル・ブライダル業界研究(模擬ブライダル予定)	
	第4回	オーラルスピーチ・プレゼンテーション ホテル・ブライダル業界研究(反省点、改善点、アセスメント)	
	第5回	予習(時間)：レポート課題、プレゼンテーションの方法、要旨をまとめてみる。(30) 復習(時間)：授業内容の復習、発表した内容を確認する。(30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション (意見の主張) ホテル・ブライダル業界研究	
	第6回	予習(時間)：賛否両論に分かれる物事について自分の立場を明らかにして、意見を述べるようにする。(30) 復習(時間)：根拠にもとづいて意見を述べるように練習する。(30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション (ディスカッション) ホテル・ブライダル業界研究	
	第7回	予習(時間)：ディスカッションのルールを事前に調べる。(30) 復習(時間)：ディスカッションをしたテーマについて再度、確認する。(30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション (ディスカッション) ホテル・ブライダル業界研究	
	第8回	予習(時間)：ディスカッションのルールを事前に調べる。(30) 復習(時間)：ディスカッションをしたテーマについて再度、確認する。(30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション 図書館・インターネットで資料を探す方法 ホテル・ブライダル業界研究	
	第9回	予習(時間)：図書館・インターネットについて、またルールを事前に調べる。(30) 復習(時間)：授業内容について再度、確認する。テキスト復習 (30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション (ディベート) ホテル・ブライダル業界研究	
	第10回	予習(時間)：ディベートについて事前に理解する。(30) 復習(時間)：ディベートの論題の種類や方法について復習する。(30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション (ディベート) ホテル・ブライダル業界研究	
	第11回	予習(時間)：ディベートのテーマについて文献や資料、データで調べる。(30) 復習(時間)：ディベートの論理の構成について復習する。(30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション (効果的な話し方を身に付ける) ホテル・ブライダル業界研究	
		予習(時間)：効果的に話すことや話の構成について事前に予習する。(30) 復習(時間)：効果的に話すことや話の構成についてポイントを押さえて復習する。(30)	

	第12回 プレゼンテーション、レポートの基本と作成 (効果的な表現力を身につける) ホテル・ブライダル業界研究 第13回 予習(時間): プレゼンテーションやレポート作成の大切さなどについて予習する。(30) 復習(時間): 効果的な作成方法を身につけるためのポイントについて復習する。(30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション (プレゼンテーション) ホテル・ブライダル業界研究 第14回 予習(時間): プレゼンテーションの意味について予習する。(30) 復習(時間): 聞き手の役割などを意識して練習する。(30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション (プレゼンテーション) ホテル・ブライダル業界研究 第15回 予習(時間): プレゼンテーションの意味について予習する。(30) 復習(時間): 聞き手の役割などを意識して練習する。(30) オーラルスピーチ・プレゼンテーション まとめ、期末テストについて 予習(時間): 授業のふりかえり (30) 復習(時間): プレゼンテーションの重点ポイントを復習する。(30)
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	DPの次の項目を意識した科目になっている。 3. 基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力 [身につくスキル]主体性・協働性
到達目標	①インターネットや図書館を利用して文献調査を行うことができる。 ②様々な文書を理解し、要約・分析し、意見を述べることができる。 ③短大での学びや進路にむけて目標をたて、計画・実行・評価・改善ができる。 ④積極的に発言でき、他の人の考えや意見を聞くことができる。 ⑤グループで共同作業ができる ⑥コース専門領域の基礎教養知識を活用することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テスト等の全体的な注意点などを授業内で説明します。
履修上の注意	①無断欠席、遅刻、授業中私語、飲食禁止。携帯電話は電源OFFにしてカバンにしまうこと。 ②全ての講義座席指定。 ③受講者は積極的な授業参加を必要とします。また関連ニュースや新聞記事などにも興味をもって見る様に期待します。 ④欠席(公欠含む)6回で履修放棄とみなすので注意すること。 ⑤小テスト(授業内容)、レポート課題など提出物は締め切り厳守とします。
成績評価の方法・基準	期末テスト(レポート) 50% 課題レポート、小テスト、ノート、プレゼンテーション 50%
教科書	スタディスキルズ・トレーニング 大学で学ぶための25のスキル 出版社: 実教出版 価格: ¥1200 (前期、日本語リテラシーでのテキスト後半を使用します。)
参考書・教材	【参考書】授業内で適宜紹介する。【教材】必要に応じて配布する。
備考	演習科目
教員との連絡方法	Mellyで授業連絡を行うので、各自授業始まりまでにセッティングしておくこと。その他メール及びオフィスアワー